

結城農業かわら版



第155号
令和5年7月20日

発行元：結城地域農業改良普及センター
TEL：0296-48-0184
FAX：0296-48-2682



結城4Hクラブが朝どりトウモロコシの注文販売を行いました！

6月27日、結城市農村青少年クラブ（結城4Hクラブ）が市内の小中学校職員等を対象に、トウモロコシの注文販売を行いました。

4Hクラブでは毎年、夏期の共同プロジェクトとして結城市への地域貢献を目指し、トウモロコシの栽培を行っています。

毎年、フレッシュな甘さが好評な「味来」という品種を栽培しています。

当日の朝4時から収穫・調整・袋詰め作業に追われながらも、採れたて新鮮なトウモロコシ約6000本を販売することができました。



令和5年度茨城県農業経営士・女性農業士・青年農業士 認定式および令和4年度退任式

本県では、農業担い手の確保育成や地域農業の活性化など、各地域のリーダーとして活躍している農業者の方々を、農業経営士、女性農業士、青年農業士として認定しています。

7月12日（水）、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で令和5年度認定式及び令和4年度退任式が開催され、結城地域では、農業経営士1名、青年農業士2名が認定されました。また、青年農業士5名が退任されました。長い間、結城地域の農業の発展にご尽力いただきありがとうございました。

普及センターでは、今後も結城地域の農業の発展に貢献できるように、農業三士の方々と協力して活動していきます。

新任農業経営士

いなば よしゆき
稲葉 吉起さん（結城市）

ハクサイ、レタス、トウモロコシを経営の柱として露地野菜の周年出荷をしています。法人化をしており、雇用労働を活用した省力・低コスト栽培を積極的に導入しています。

新任青年農業士

ふなばし ひでのり
船橋 英統さん（結城市）

令和元年に新規就農し、周年栽培のネギを中心とした経営をしています。経営改善の研究活動にも熱心で、関東ブロック農村青少年（4H）クラブプロジェクト実績発表会における意見発表では優秀賞を受賞しました。

あおき けんた
青木 健太さん（八千代町）

大規模水耕栽培経営で、ミツバを中心として、イチゴやレタスの栽培をしています。茨城県養液栽培研究会の研究活動に積極的に参加しており、養液栽培技術は県内でもトップクラスです。

退任青年農業士

結城市：小川 智士さん、吉田 和朗さん
常総市：加藤 清文さん、佐藤 治彦さん
八千代町：中山 康弘さん

長い間ご尽力いただき
ありがとうございました！

結城市の
船橋さんが
青年農業士
代表で認定
証を受け取
りました！



オオタバコガ・シロイチモジヨトウの発生にご注意を！！

【フェロモントラップ調査】

普及センターでは毎年、市町・JAと連携してフェロモントラップを利用したチョウ目害虫の発生予察に取り組んでいます。

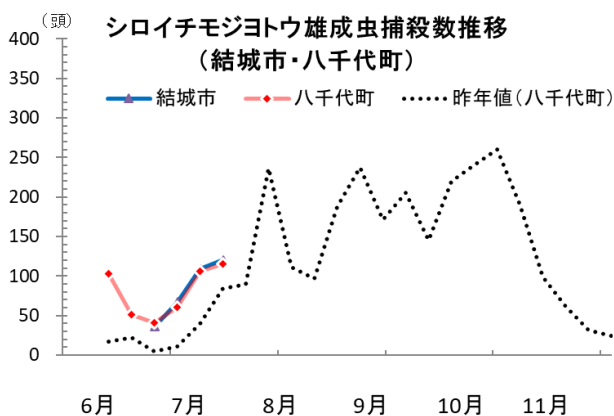
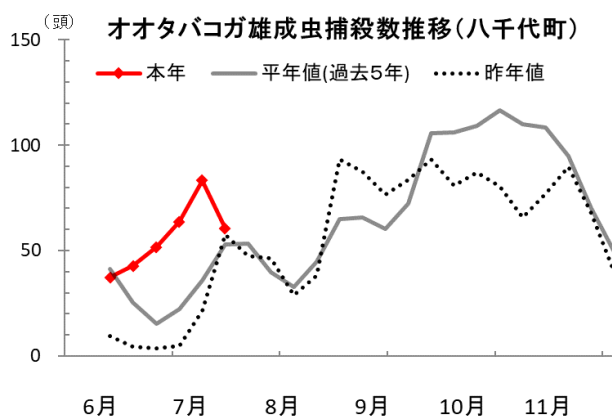
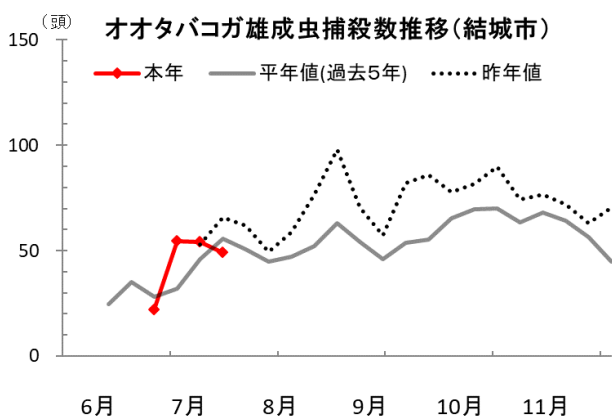
結城市および八千代町でオオタバコガ・ハスモンヨトウ・近年被害が多発しているシロイチモジヨトウの調査を行っています。

【本年度の発生傾向】

オオタバコガの発生数が結城市、八千代町において「昨年並～やや多」となっています。1度目の発生のピークは昨年と同様のタイミングで現れています。ハスモンヨトウについても徐々に発生数が増加しています。

今後9月から10月にかけて両種の発生は増加すると考えられます。後日、普及センターからの「一斉防除タイミングのお知らせ」を活用し、防除を徹底しましょう。

シロイチモジヨトウは昨年より早く、6月から発生しています（下図参照）。茨城県病害虫防除所の薬剤検定によると、一部の薬剤で効果の低下が確認されています。これらの資料を参考に防除に取り組みましょう。



茨城県病害虫防除所
シロイチモジヨトウに
おける薬剤検定の情報は
こちらから (令和4年度)



茨城県病害虫防除所 シロイチモジヨトウ



熱中症に
注意！

近年、農作業中の**熱中症**による死亡事故が増加しています。熱中症は決して人ごとではありません。めまい、顔のほてり、筋肉のけいれん、吐き気などが代表的な症状ですが、熱中症には特徴的な症状がなく、**「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性**があります。症状がでないよう、日頃から熱中症の予防・対策を行いましょう。農作業は日中の気温の高い時間帯を外したり、単独作業を避け、2人以上でお互いに声掛けをしながらの作業をお願いします。

※参考：農林水産省通知、一般財団法人日本気象協会「熱中症ゼロへ」